



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第44号

2015年4月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【基本方針】

- 一 国が担うべき政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 二 呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 三 開放型・地域医療支援病院として地域医療の質の向上および地域連携の充実に貢献します。
- 四 臨床研究・臨床試験に積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献します。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
3. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 治療法を選択できる権利があります。
5. 病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
6. 個人情報を守られる権利があります。
7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

1. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
2. 検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
3. 他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目次

2. 「就任のご挨拶」

診療部長 河本 純子

「新任のご挨拶」

経営企画室長 奥地 博

和歌山県立医科大学保健看護学部

3年次生の地域連携実習を受け入れて

看護部長 空山 直子

3. 日本医療マネジメント学会

第10回和歌山支部学術集会を開催して

院長 南方 良章

4. 生活習慣病予防の集団食事教室

栄養管理室長 真鍋 悟

5. 開放型病院16周年記念特別講演会

副院長 駿田 直俊

新病棟建替工事進捗状況です

6. 外来診療担当表・職員募集案内

就任のご挨拶

診療部長 河本 純子

このたび、平成27年4月1日付けで内科系診療部長に任命されました河本です。地域医療連携室長も兼任させていただくことになりました。私は、当病院に着任してから11年半になります。和歌山県では神経内科の専門医が非常に少ないため、ずっと1人でしたが、昨年の夏よりスタッフが1人増えました。何とか今日までやってこれましたのも、地域の先生方をはじめ、諸先生方、Nsや多くのスタッフの皆さんのおかげだと思っています。治療困難な神経筋疾患が多い中、それでも新しい診断法、新しい治療も日々開発されるようになりました。今後さらにも多くの患者様に最善、最良の医療を提供させていただけるよう努力していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



新任のご挨拶

経営企画室長 奥地 博

この度、平成27年4月1日付で経営企画室長として着任致しました奥地博と申します。前任の職場は近畿厚生局というところで、病院のように色々な職種の方が働いている職場ではなく、主に事務方の職場として1つの仕事を専門に行っていました。

今回、病院勤務に復帰し改めて病院を運営することがいかに大変なことかを感じているところです。

経営企画室として、新病棟完成後を踏まえた計画的かつ健全な病院経営を行う上での基礎データ管理及びデータを加工し提供することや新たな経営改善に向けた提案を行うこと、地域の医療機関や住民の皆さまとの関わりを深めるため健康フェア、市民公開講座や開放型病院勉強会などを定期的に行うこと、院外報「和歌山病院ニュース」の発行などに取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



和歌山県立医科大学保健看護学部3年次生の 地域連携実習を受け入れて

看護部長 空山 直子



平成27年2月23日～24日の2日間、和歌山県立医科大学保健看護学部3年次生33名の実習を受け入れました。今回の「地域連携実習」は、“地域医療を支える医療施設と地域との連携の実際を学び、地域社会における住民の保健・医療・福祉に対するニーズを把握し、看護職の役割を学ぶ”ことが目的でした。

1日目は南方院長の講義から始まりまして。つかみはOKだったように思います。その後、各診療科における地域医療連携の実際について病

棟看護師の講義、地域連携室のMSWと副看護師長から地域連携室の活動、役割についての講義と続きました。2日目は6グループに分かれて病棟見学を行いました。また、今年は新たに外来実習が加わり、診察の実際や患者指導の場面を見学しました。実習のまとめでは、「病院と地域住民(患者さん)の距離が非常に近いと感じた」「退院後の生活を考えて、チーム全体で関わっていることが良く分かった」等の感想が聞かれ、地域医療の質の向上および地域連携の充実に取り組んでいることが学生に伝わったのかな！と安心しました。

今年もほとんどの学生が研修棟に宿泊をしました。寒い時期でしたので風邪を引かないかと心配していましたが、“ちょっとした小旅行気分を味わえて楽しかった”ようです。

日本医療マネジメント学会 第10回和歌山支部学術集会を開催して

院長 南方良章

平成27年1月31日（土）和歌山県御坊市民文化会館において、日本医療マネジメント学会第10回和歌山支部学術集会を、当院が担当で開催致しました。メインテーマを『協働し創造する地域医療の未来～和歌山県における地域医療ビジョンを考える～』とし、特別講演、ランチョンセミナー、シンポジウム、一般口演26題、一般示説34題の発表が行われました。このテーマは、前院長の楠山良雄名誉院長のご発案で、まさに時期を得たものであり、しかもこの御坊の地で開催することができたことは、何事にも代え難い喜びでした。

特別講演では、元体操選手でロンドンオリンピック出場の田中理恵氏（現日本体育大学助教、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事）と、三人の子どもをオリンピック選手に育てられたご尊父の田中章二氏（現和歌山県立和歌山北高校教諭、和歌山オレンジ体操クラブ代表）をお招きし「スポーツが持つ可能性」をテーマに楽しくも有意義なお話を拝聴しました。現在のスポーツの現場では、一流の選手を育てるために選手を中心に指導者・メンタル専門家・ドクター等によるチーム力が不可欠となっているとのことで、チーム医療が重要とされる

医療の現場でも応用できる数多くの学びを得ることができました。また、シンポジウムでは「和歌山県における地域医療ビジョンを考える」をテーマに野尻孝子和歌山県健康局長・上野雅巳和歌山県立医科大学教授・池田剛司公立那賀

病院呼吸器科内科科長・初山昌平田辺西牟婁歯科医師会会長をシンポジストにお招きし、中井圀雄南和歌山医療センター院長の座長により行政・教育・医療それぞれの現場の問題点と今後あるべき医療の姿について熱のこもった議論が交わされました。

当院での本学会のお世話は7年ぶりであり、会場もこれまでの定番であった和歌山市内ではなく、地元御坊市内での開催であり、参加者数を含め運営上の懸念がございましたが、皆様のご協力により295名もの多くの医療関係者の

方々のご参加をいただきました。昨年の和歌山市内での開催時の311名に匹敵する参加数で、大変有意義な学術集会となり、成功裏に開催することができました。この場をもちまして会の運営にご協力いただいた各位に心より感謝し御礼を申し上げますとともに、開催のご報告とさせていただきます。



生活習慣病予防の集団食事教室

栄養管理室長 真鍋 悟

入院中の患者様には病院で調理した個々の病状に合わせた食事を召しあがっていただいています。病院食を何日間か経験し、栄養士・看護師から退院後の食生活等のアドバイスを受け退院されます。家庭では料理を担当する方ができるだけ病院食に沿った食事をと苦勞されていることと思います。

当院では平成17年から退院後の食事教育の一環として、また入院経験のない外来患者様に対して、生きた指導媒体として集団食事教室を開催しています。



テーマは教室の名前の通り、生活習慣病と言われています「糖尿病」「高血圧症」

「肥満症」、または多くの方が悩まれている「骨粗鬆症」「貧血」などをとりあげて開催しています。その他にこの教室の開催の目的には「調理師の技術の向上」と「献立のレパートリーを増やすこと」があります。同じ材料でも調理方法の工夫、盛り付けによっては見栄えも良くなり、患者様の食欲が上がるのが期待できます。好評のメニューは病院食

に取り入れています。

開始当初は参加者が数名という教室もありましたが、どんどん増えて部屋に入り切らなくなりましたので、現在では一つのテーマで2回に分けて開催しており、参加者は1回当たり10～15名となっています。

参加された患者様の声には

- ・食事に対する意識が高まった。
- ・家で料理をするときの参考になる。
- ・体重が減少。血圧、検査値が改善した。
- ・患者同士の交流ができて楽しい。

などがあります。食事に対して興味を持つことで家庭の料理にも気にかけるようになり、体重・検査結果の改善につながってきていると思われる。

◎食事教室開催予定

食事教室は集団で行いますが、食事という物は家庭によって千差万別です。

また「糖尿病」や「骨粗鬆症」など医師から診断を受けている方はさらに細かい調整が必要になってきます。

その際には集団（教室）ではなく個人栄養相談をご利用ください。

当院の主治医と相談の上、希望される日時を言ってくだされば診断病名、身長、体重などより必要量を算出します。さらに食事の好みなどもお話しいただき、これからの食事内容を一緒に考えていきませんか。お待ちしております。

栄養相談を受けてみませんか？

- ・最近、体重が増えてきた！または減ってきた！
- ・健診で注意された！
- ・減塩食をすすめられた！
- ・自分にあつた食事量はどれくらい？
- ・今日の夕食のメニューは何にしよう？



こんな疑問や気になることがある方は管理栄養士と一緒に考えてみましょう

ご希望の方は診察時に医師・看護師にご相談ください



別途費用がかかります。保険が適用されますが各自負担割合によって費用は異なります。

和歌山病院 栄養管理室

※費用

日時：毎月第2木曜日（8月、1月は休講）

11：30～ 《先着20名様》

場所：当院 2階会議室

内容：生活習慣病についての話

（栄養士）30分

献立・調理についての話を聞きながらの食事（調理師・栄養士）30分

※ご家族の方も参加できます

（食事代のみ500円）

参加申し込みはお電話で

栄養管理室 0738-22-3256（代）

平日 10：00～17：00

教室当日は11：20までに外来窓口にお越しください。



開放型病院 16 周年記念特別講演会

副院長 駿田直俊



近藤 誉之先生

平成27年2月28日に、京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部副部長である近藤誉之先生をお迎えして、和歌山病院開放型病院16周年記念特別講演会・第142回日高臨床医勉強会を当院研修棟にて開催しました。地域医療機関の先生方を含め46名の参加をいただいております。「地域ネットワーク医療部の退院支援-神経難病患者も含めて-」につきお話しいただきました。

地域ネットワーク医療部の活動のご紹介がありましたが、入院時からの退院・生活支援に対するスクリーニングから、病棟カンファレンスへのスタッフの参加、必要に応じ退院・生活支援に向けて近藤先生が自らカンファレンスに参加して、主治医や病棟担当看護師の評価だけでなく客観的かつ公正な評価を病院内のチームで行っていることが印象に残りました。「退院調整」となると、とかく病院の事情などで、急いでしまい不十分な対応となってしまうがちですが、特定機能病院・超急性期病院である大学病院の中で、非常にきめ細かく対応をされており感銘を受けました。

さらに、地域の医療機関へのアンケート調査のご紹介の中で、その時の入院・退院対応だけでなく、その後の患者さんの予想される経過を、十分患者さん・ご家族に説明・納得いただき患者さんの不安を少なくし、その後の入院の可能性またタイミングなどを地域医療機関の先生方と共有することが重要であることを述べられました。

地域医療機関として非常に参考となるお話であったと思います。こと地域医療に関しては「大学病院でもできるんだから我々もできるはず」との思いで、今回のご講演内容を参考に、今後の当院・当地域でも実践できるように努めてまいります。



新病棟建替工事進捗状況です

桜のたよりもあつという間に過ぎて、木々にも葉が芽吹き初夏へと移ろうとしております。病棟建替え工事も1階の床（ピロティ）と柱部分は鉄筋からコンクリートへと進捗し、現在は、3階床部分並びに柱の躯体部分に工事が進んでいます。

また、病室の予定図もできましたので掲載させていただきました。



(3階 床部分)



(1階 ピロティ部分)



(1人床 病室)



(4人床 病室)



平成27年4月1日

		月	火	水	木	金
外科	担当医 (予約のみ)	岩橋 正尋	宮坂 美和子 (乳腺外来)	岩橋 正尋	有本 潤司	
呼吸器センター	初診	柳本 立太	南方 良章	田中 彩加	小野 英也	川邊 和美
		—	柴木 亮太	—	—	小暮 美和子
	再診	駿田 直俊	小野 英也	柳本 立太	赤松 啓一郎	—
	専門外来 (午後)	—	—	睡眠外来 駿田 (再診) COPD外来 担当医	禁煙外来 乾 宏行 (第1・3週) 赤松 啓一郎 (第2・4・5週)	睡眠外来 駿田 (初診)
内科	楠山 良雄 (予約再診のみ)	—	—	楠山 良雄 (予約再診のみ)	—	—
	駿田 直俊	南方 良章	—	—	—	—
神経内科	中山 宣昭	—	河本 純子 (第2・4週)	—	河本 純子	

※受付時間 8:30～11:30 診療時間 8:30～17:00

※再診については原則、予約制にしております。(急患についてはこの限りではありません)

看護師募集中！(①常勤・②非常勤)

- 募集人数:①②ともに若干名
- 必要資格:①②ともに看護師免許
- 勤務時間:①1日7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
②応相談(1週最大32時間まで)
- 休日:①4週8休制度②勤務内容により応相談
- 勤務内容:①病棟看護業務
②夜勤専従、病棟・外来日勤等応相談
- 給与:①基本給:188,900円～
(短大3卒の場合)※各種手当有
②時給:1,410円※交通費別途支給



院内宿舎・保育所あります！

ボランティア募集！

例えば・・・外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)



押し花



フラワーアレンジメント

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院長/南方 良章 診療部長(内科系)/河本 純子
副院長/駿田 直俊 診療部長(外科系)/有本 潤司
呼吸器センター長/柳本 立太

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://www.wakayama-hosp.jp/>